

22 陳情 第 27 号	待機児の解消を早急に求める陳情
付託委員会	福祉健康委員会
受理及び付託 年 月 日	平成 22 年 10 月 4 日受理、平成 22 年 10 月 4 日付託
陳 情 者	新宿区_____ ほか 41 名 代表 _____
<p>(要 旨)</p> <ol style="list-style-type: none"> すべての待機児を解消するため、区立・私立の認可保育園を増やしてください。 区立戸山第 3 保育園は待機児解消のため残してください。 なぜ区立戸山第 3 保育園を廃止するのか、区は区民に対し説明会を行ってください。 区はつくし保育園の保育内容を継承した認可保育園をつくってください。 認可保育園に入園できないために、認証保育所や保育室、保育ママ、ベビーホテルなどに入所している子どもについては、認可園との差額の保育料を助成してください。 <p>(理 由)</p> <p>「子どもが保育園に入れなかったために、なぜ働いている女性が仕事を辞めなければならないの」「認可外は保育料が高くて入れられない」「生活のために働きたいが、求職中だと点数が低く展望がない」「保育園に入れる保障がないから子どもが産めない」などの声が新宿のまちのあちこちで聞かれます。区内認可保育園の待機児は増え続け、9 月 1 日現在 211 人で年度末には 300 人を超える勢いです。9 月 15 日現在の申込み者数は 435 人です。</p> <p>特に待機児が多い牛込地域では 81 人で昨年 9 月の 62 人、一昨年 9 月の 57 人に比べても深刻さが増しています。牛込地域内で来年 4 月に区立東五軒町保育園で 83 人増やしますが、暫定扱いである 70 人定員の区立信濃町分園は事実上終了予定です。再来年 4 月は医療センター内に 137 人定員の私立園をつくる予定ですが、100 人定員の区立戸山第三保育園と認可外の 12 人定員のつるまき保育ルーム、20 人定員のつくし保育園が廃止予定で、これでは全く足りません。</p> <p>40 年以上の歴史がある“つくし保育園”の継続のため新築・認可化が求められてきましたが違う方向に向っています。</p>	

一方、新宿区は認証保育所を増やしていますが、9月で定数をオーバーしている所が過半数あり登録待ちの園ばかりですし、入園料が2～3万円程度で月の保育料が5～9万円となりとても払えないとか、狭い園舎で年齢別の保育がされているのか不安など認可保育園と相違点がいくつもあり「やっぱり認可保育園に入りたい」という願いは増え、特に所得の低い世帯にとっては切実です。

また、待機児の90%以上が0歳～2歳児で、認可園では1年中ほとんど空きがなく、実際9月1日現在、認可外に600人以上の子どもが入所しています。待機している乳児の2倍以上の定員を増やす計画が必要ではないでしょうか。

「働きながら安心して子どもを産み育てたい」という願いをかなえてくださるようお願いいたします。